

雲の底部が約 50 キロ辺にあり、雲中でも視界は数キロメートルで、雲がかなり薄いことを物語ります。(地球成層圏の濃硫酸エアロゾル密度の 10 倍程度)。これらの雲の主層の上に、近紫外光を散乱させる層があることも、再確認されています。

雲より上の問題としては、金星上で古くから知られている現象「Ashen light」という夜光のスペクトルが可視域を中心として検出されました。このスペクトルの同定は、アメリカの Bartha らによっていち早く行われ(Science 195, 573, 1977), 炭酸ガスが壊れてできた酸素原子が、

酸素分子を作る際出す光とされています。

も一つ、軌道船から出す電波の掩ぺい観測で、金星の電離層に太陽風の及ぼしている影響がきれいに出来ました。マリナー 9 号, 10 号のデータで互にやや矛盾しているかに見える夜側の電子分布が、夕か夜かで、大変ちがってくるのだと明確に示されたのです。

これだけ出されると、来年のアメリカの金星パイオニア計画は、だいぶ苦しくなります。最初の計画では、殆んど同じような計器を積んでいますから、少し取り替えたとこでうまく行くかどうか……。 (清水幹夫)

### 賛 助 会 員 名 簿

(1977年7月5日現在の本会賛助会員は下記のとおりであります。ここに) 社名, 代表者名を掲載させて頂いて感謝の意を表します。(五十音順)

旭光学工業株式会社	松本三郎	谷村株式会社新興製作所	谷村昌子
朝日新聞社科学部	木村繁	地人書館	中田威夫
アストロ光学工業株式会社	滝沢磐	天文博物館	
岩波書店	岩波雄二郎	五島プラネタリウム	五島昇隆
宇宙開発事業団	島秀雄	東京電力株式会社	木川田一隆
沖電気工業株式会社	佐藤敦之	東北電力株式会社	若林 暉
近江屋写真用品株式会社	野呂幸義	長瀬産業株式会社	
カールツアイス株式会社	波木泰雄	コダック製品部	広田 悟男
河出書房新社	佐藤皓三	ナルミ商会	村上俊男
関西電力株式会社	芦原義重	日本光学工業株式会社	彌永恭二郎
関東電気工業株式会社	関井忠夫	法月鉄工所	法月惣次郎
啓文堂松本印刷	松本喬路	富士通株式会社システム統轄部	松田季彦吾
恒星社厚生閣	志賀正三	丸善株式会社	飯泉新吾
五藤光学研究所	五藤斉三	三菱電機株式会社	中村 義一
金光教本部教庁	金光鑑太郎	宇宙開発部	土井博之雄
誠文堂新光社	小川茂男	ミノルタカメラ株式会社	田嶋 一
ソニー株式会社	岩間和夫		

1977年5月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	1,	9	6	1,	7	11	3,	18	16	3,	11	21	1,	8	26	—,	—
2	1,	4	7	1,	8	12	5,	19	17	2,	17	22	1,	2	27	2,	5
3	1,	9	8	2,	14	13	4,	15	18	1,	12	23	1,	2	28	1,	4
4	—,	—	9	2,	9	14	3,	16	19	3,	7	24	0,	0	29	—,	—
5	—,	—	10	3,	13	15	—,	—	20	1,	5	25	0,	0	30	—,	—
(相対数月平均値: 20.3)															31	2,	40

昭和52年7月20日	発行人	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
印刷発行	印刷所	〒112 東京都文京区水道2-7-5	啓文堂松本印刷
定価 300 円	発行所	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
		電話 武蔵野 31局 (0422-31) 1359	振替口座 東京 6-13592